



June 14th 2019

BGN UNESCO NEWS

Bunka Gakuen Nagano Jr. & Sr. High School No 2

学習の4つの柱

ユネスコ「21世紀教育国際委員会」編(天城敷訳)

(1) 知ることを学ぶ Learning to know:

十分に幅の広い一般教養をもちながら、特定の課題については、深く学習する機会を得ながら「知ることを学ぶ」。

(2) 為すことを学ぶ Learning to do:

多様な状況に対処し、他者と共に働く能力を涵養するために。

(3) 共に生きることを学ぶ Learning to live together:

一つの目的のために、共に働き、人間関係の反目をいかに解決するかを学びながら、多様性の価値と相互理解と平和の精神に基づいて、他者を理解し、相互依存を評価すること。

(4) 人間として生きることを学ぶ Learning to be:

個人の人格をいっそう発達させ、自律心、判断力、責任感をもってことに当たれるよう、「人間としていかに生きるかを学ぶ」。

ESD 持続可能な開発のための教育 = Education for Sustainable Development

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない
(ユネスコ憲章前文より)

ESD実践 2つの観点

- ① 人格の発達や、自律心、判断力、責任感などの人間性を育むこと
- ② 他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「関わり」「つながり」を尊重できる個人を育むこと



ESDの推進が、SDGs(持続可能な開発目標)の達成につながります

持続可能な開発目標

Sustainable Development Goals SDGS エスディージーズ

- 目標1 貧困をなくそう
- 目標2 飢餓をゼロに
- 目標3 全ての人に健康と福祉を
- 目標4 質の高い教育をみんなに
- 目標5 ジェンダー平等を実現しよう
- 目標6 安全な水とトイレを世界中に
- 目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 目標8 働きがいも経済成長も
- 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 目標10 人や国の不平等をなくそう
- 目標11 住み続けられるまちづくりを
- 目標12 つくる責任つかう責任
- 目標13 気候変動に具体的な対策を
- 目標14 海の豊かさを守ろう
- 目標15 陸の豊かさを守ろう
- 目標16 平和と公正をすべての人に
- 目標17 パートナリシップで目標を達成しよう



教育が全てのSDGsの基礎

持続可能って？

今、自分の周りのことだけではなく、未来の皆や地球も今のように暮らせるということ。

開発って？

十分に食べられなかったり、学校に行けなかったり、住んでいるところがとても危険だったり、暴力を振るわれたり、自由に意見が言えなかったりすることをなくして、皆が安心して、自分の能力を十分に発揮しながら満足して暮らせるようにすること。



現在地球で起きている課題や、地域の課題が一体なんであるか、考えたことはありますか？

Let's think!!